

平成29年度第2回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 平成29年5月8日（月） 13：16～16：55
- 2 場 所 3号館8階教育委員会室
- 3 出席者 <教育委員会>
雪村教育長 山本委員 梶木委員 伊東委員 福田委員 今井委員
<事務局>
川田教育次長 岡田スポーツ担当局長 浜本総務部長
大谷学校教育部長 日下社会教育部長 後藤教育施策推進担当部長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 1名
- 6 会議内容

（雪村教育長）

ただいまより、教育委員会会議を始めます。

本日は、議案4件、協議事項1件及び報告事項6件です。

このうち、教第7号議案については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、職員の人事に関する事。教第8号議案及び教第15号議案については、同項第4号により、社会教育委員、公民館運営審議会委員及び法律または条例に基づき設置する附属機関の委員の委嘱及び解嘱並びに任免に関する事。協議事項2、報告事項1、報告事項2、報告事項4及び報告事項5については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、非公開としたいと思いますが、賛同いただけますか。

（6名の賛成により非公開案件を決定）

（雪村教育長）

それでは、報告事項3、平成29年度全国学力・学習状況調査の実施状況報告について、総合教育センターよりお願いします。

報告事項3 平成29年度全国学力・学習状況調査の実施状況報告について

（浦川教科指導担当課長）

平成29年度全国学力・学習状況調査の実施状況について報告します。

1枚お開きください。今年度は、4月18日火曜日に、全小中学校等で滞りなく実施しま

した。毎年ですけれども、対象は小学校6年生、中学校3年生。教科に関しては、国語A・B、算数あるいは数学A・Bでした。各教科のAは、主として知識に関する問題で、Bは主として活用に係る問題です。理科は3年に1回です。今年度は対象年度ではありませんので、理科はありませんでした。

そのほかに、毎年ですけれども、児童生徒に対し、学校生活に係ることを尋ねる児童生徒質問紙調査と、学校に対して指導方法に関する取り組みや教育条件、その他を問う学校質問紙調査もありました。

今年度、調査に参加した学校数と児童生徒を記載しています。小中学校を合わせた合計数は、一番下の欄ですが、実施学校数が249校、実施児童生徒数が2万3,511人、欠席等で後日に実施する予定が280人となっています。

調査問題の傾向です。実施から日が浅い状態で、解説資料等もまだ国から届いていませんが、概要について口頭で報告します。小中学校の国語・算数・数学全問題で142問がありましたが、そのうちの32問、全体の23%で、過去の調査で正答率の低かった問題が繰り返し出されているという状況でした。

例えば小学校の国語では、登場人物の心情を読み解く問題、あるいは中学校の数学では、図形やグラフを読み解く問題、そういったものが正答率の低かった問題として、再度出題されているという傾向です。

また、生活上の知識の活用や、コミュニケーション能力をたずさような問題も出題されていました。

今後の予定ですけれども、この調査の結果については、文科省は今年度から2度に分けて報告する予定ということです。8月の中旬頃に結果の速報値を出し、その後、学級ごとの結果などが国から返ってくる予定です。その結果については、また教育委員会会議にて報告させていただくとともに、神戸市全体の速報値として記者発表を行います。

また、8月から10月にかけて、学識経験者や小中学校の教科研究部長を含めた神戸基礎学力向上推進委員会を開催し、あわせて実施した神戸市学力定着度調査も含めた分析を行います。10月には、学識経験者をお招きして、教科別の研修会を実施する予定です。

そして、最終的には12月に調査報告をまとめて、教育委員会会議でまた報告させていただく予定です。

以上、よろしく申し上げます。

(雪村教育長)

4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の実施状況ですが、いかがでしょうか。

ことしから2回に分けてと言いましたけれども、下にある「今後の予定」の中にはどこにありますか。

(浦川教科指導担当課長)

8月に予定されている国からの調査結果の返却が、まず1回目という認識です。2回目の時期がまだわかりません。2回報告されること、その1回目が8月のなるべく早い時期にされる予定であることだけがわかっています。昨年、国の集計プログラムのミスで発表が大きくずれ込む事件もあったので、文科省も慎重になっているのか、余り時期を教えてくださいませんか。

(雪村教育長)

どの程度の内容が1回目、どの程度が2回目というのはわかりますか。正答率は、1回目で出てくるのですか。

(浦川教科指導担当課長)

正式にはそれもまだわかりません。ただ、速報値というからには、平均正答率は速報で出るのかなと思っています。それ以外、何を出すのかという話にもなりますので。恐らく、問題ごとの回答の傾向や、抽出で行っている保護者調査の分析が、速報値の次の第二弾として出てくるのかなと思っています。

詳しい分析は今後の話になりますけれども、総合教育センターにいる国語・算数・数学それぞれ専門の指導主事が問題を解いた中では、例えば国語では、少し易化したという印象だったようです。

(雪村教育長)

やさしくなったということですか。

(浦川教科指導担当課長)

そういうことです。

(福田委員)

先ほど、試験問題のうち何%が、過去正答率が悪かった問題と同じ問題だったとおっしゃいましたか。

(浦川教科指導担当課長)

142問中32問、全体にして23%の割合が過去正答率が低かった問題と同じものでした。

(福田委員)

それに似たような問題が出たということですね。今年は、過去に正答率が悪かった問題について、力が向上したかどうかというチェックのために、文科省に多様な問題を出題されていると思うのですが、過去にもそういう傾向というのはあるのですか。

(浦川教科指導担当課長)

今年度で11年目に当たりますけれども、基本的には、過去の正答率が低かった問題が繰り返し出される傾向にあります。ですから、それは今年度に限ったことではありません。

(福田委員)

今年に限ったことではないのですね。というのは、少し前にニュースで見たのですが、いろいろな自治体等が予備校のようなことをやっているの問題視されていました。だから、例えば過去のそういう問題を繰り返し出すというのはどうなのか、議論していただきたいなどは思いますね。

(浦川教科指導担当課長)

先の文科大臣の馳大臣が、会見で、過去問をやることがだめということではないのですが、試験対策のために、全国調査の直前に過去の問題を繰り返し学習させることによって、通常の授業のカリキュラムを害するような過度なやり方は行き過ぎではないかとおっしゃったと聞いています。去年、国からもそういったことがないようにという通知が来ていますので、神戸市としても倣っていきたいと思っています。

(雪村教育長)

特に質問等、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

ありがとうございました。

続いて、報告事項6、神戸市スポーツ特別賞 被表彰者決定について、スポーツ体育課よりお願いします。

報告事項6 神戸市スポーツ特別賞 被表彰者決定について

(上田スポーツ体育課長)

報告事項6、神戸市スポーツ特別賞被表彰者決定について説明します。

2ページをごらんいただきたいのですが、今回の被表彰者は、ボクシングの久保隼選手です。ジムは兵庫区にある真正ボクシングジムです。参考に申し上げますと、長谷川穂積選手もこの同じジムです。久保選手は、第42代WBA世界スーパーバンタム級の王座を獲得されました。

3番目の項目ですが、久保選手の経歴を載せています。現在27歳、京都府出身です。平成27年には、東洋の王座を獲得していたのですが、今回初めて世界級に挑戦されて、平成29年4月9日に世界スーパーバンタム級の王座を獲得されました。ベネズエラの選手に勝って、この王座を獲得したというものです。

なお、2番をごらんいただきたいのですが、5月1日月曜日、市役所1号館で、久元市長から、真正ボクシングジム久保選手を表彰いただきました。

参考に4番ですけれども、特別賞の過去の受賞者を掲載しています。

なお、3ページ、4ページは、この表彰に対する要綱、選考委員会のメンバー等を載せていますので、また後ほどごらんいただきたいと思います。

以上です。

(雪村教育長)

この件について、いかがでしょうか。

久保選手は、現在は神戸在住ですか。

(上田スポーツ体育課長)

在住です。兵庫区にある寮に住まれています。在住であり、在勤です。

(雪村教育長)

すでに5月1日に市長表彰が終わっているということですが、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

続いて、教第9号議案、神戸市いじめ問題審議委員会規則の一部を改正する規則の件について、お願いします。

教第9号議案 神戸市いじめ問題審議委員会規則の一部を改正する規則の件

(吉岡学校教育課首席指導主事)

教第9号議案、神戸市いじめ問題審議委員会規則の一部を改正する規則の件について説明します。

現在の規則でも、第2条第2項で、臨時委員をおくことができると明記されていますが、現在、審議委員会のメンバーが調査のための第三者委員会としても活動している実態があります。臨時委員を置くことに加え、審議会の中に調査のための部会を組織できるという

規則を定めておくことにより、今後、より柔軟に素早く対応できるようになるものと考え、規則の一部改正を提案します。

(雪村教育長)

いじめ問題審議委員会規則の一部を改正する規則の件ですが、いかがでしょうか。質問、意見等ありませんか。

(梶木委員)

これは直ちに換えられるということですよ。

(吉岡学校教育課首席指導主事)

手続が完了次第、変えたいと思います。

(梶木委員)

わかりました。

(山本委員)

こういう委員会がどんどん機能することは望みませんが、備えは必要だと思います。

(雪村教育長)

規則改正の件について、よろしいですか。

(6名の賛成により可決)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

それでは、引き続き主要行事予定について、総務課より説明してください。

その他報告事項 主要行事予定

(田中総務課調整係長)

前回の会議以降の主要行事予定を、1番目に書かせていただいています。

4月19日に全市校園長研修会があり、雪村教育長から講話をいただきました。4月24日にも、全市の教頭研修会があり、雪村教育長に講話をいただいています。

また、4月21日金曜日には、博物館特別展として「遙かなるルネサンス」が開会しました。

今後の主要行事として、今週末5月13日に上筒井小学校・筒井台中学校竣工記念式典。それから、翌週には、神戸市指定文化財として以前承認された禅昌寺に視察に行けたらと思っています。

また、雪村教育長に出席いただくのですが、兵庫県・神戸市の連絡会議、平成29年度神戸市小学校長会の総会、兵庫県NIE推進協議会総会があります。

教育委員会会議の定例会としては、次回は5月22日月曜日を予定しています。

主要行事予定は以上です。

(雪村教育長)

何か補足する点、質問はありませんか。

(梶木委員)

昨日、「遥かなるルネサンス」展に行ってきたのですが、こういうテーマでこういう展示の仕方があるのはおもしろいなと思いました。少年使節団の少年たちの話ではなくて、少年使節団が行った先の展示物が出てくるといふ、こういう展示会のやり方がとてもおもしろかったです。

(雪村教育長)

その日の入館者は割と多かったですか。

(梶木委員)

お昼でしたが、思ったより多くて、でも混み過ぎず、がらがら過ぎず、いい感じで見ることができました。

(田中総務課調整係長)

ありがとうございます。

(梶木委員)

歴史を勉強したくなりました。

(雪村教育長)

ほか、特に主要行事予定で、確認されたいことはありませんか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

ありがとうございます。

それでは、そのほか教育委員の皆さんから委員会会議で取り上げるべき項目について、意見はありませんでしょうか。何かありましたら、また後日でも結構ですので、事務局までお伝えいただきたいと思います。

それではここで、公開案件については、終了しましたので、傍聴者の方は恐れ入りますが、退席をお願いします。

閉会 : 午後 4 時55分